

令和6年度

静岡大学大学院

総合科学技術研究科 情報学専攻修士課程

学 生 募 集 要 項

令和6年度 一般入試（10月入学）

令和6年度 自己推薦型入試（10月入学）

令和6年度 社会人入試（10月入学）

令和6年度 外国人留学生入試（10月入学）



静岡大学

目 次

静岡大学の理念と目標	3
総合科学技術研究科のアドミッション・ポリシー	4
総合科学技術研究科情報学専攻の アドミッション・ポリシー	5
I 入試日程	9
II 一般入試（10月入学）募集要項	11
III 自己推薦型入試（10月入学）募集要項	17
IV 社会人入試（10月入学）募集要項	20
V 外国人留学生入試（10月入学）募集要項	25
VI 一般入試・外国人留学生入試の出題分野等	29
VII 研究指導教員一覧表	35
VIII 大学院入試情報の提供	39
IX 個人情報の取り扱い	39
X 障害等のある入学志願者の受験特別措置について	40
X I 安全保障輸出管理について	40
X II その他の注意事項	41

出願に必要な様式の請求

出願に必要な様式のうち以下を除くものは次のWebページにあります。

<https://www.inf.shizuoka.ac.jp/information/graduate.html>

「入学検定料払込取扱票」と「あて名シール」はWeb上にありません。この2つの様式は角形2号（24.0cm×33.2cm）の返信用封筒（請求者の郵便番号、住所、氏名を明記し、140円分の切手を貼ったもの）を同封して下記に請求してください。

記

静岡大学情報学部教務係

〒432-8011 静岡県浜松市中央区城北三丁目5-1 電話：053-478-1510

静岡大学情報学部への道順

JR東海 浜松駅 北口バスターミナル15・16番乗り場から40～48路線のバスに乗車
「静岡大学」下車（所要時間約20分）

静岡大学の理念と目標

理念「自由啓発・未来創成」

この理念は、教育だけでなく、なにごとにもとらわれない自由な発想に基づく独創的な研究、相互啓発的な社会との協働に不可欠であり、時代を越えて受け継がれるべきものです。静岡大学の学生・教職員は、このような認識の下で、教育、研究、社会連携・産学連携、国際連携の柱として、「自由啓発」の理念を引き続き高く掲げ、共に手を携えて地域の課題、さらには地球規模の諸問題に果敢にチャレンジするとともに、人類の平和と幸福を絶えず追求し、希望に満ちた未来を創り出す「未来創成」に全力を尽くします。

静岡大学は、以上のような意味での「自由啓発・未来創成」の理念のもと、静岡県に立地する総合大学として、地域の豊かな自然と文化に対する敬愛の念をもち、質の高い教育、創造的な研究による人材の育成を通して、人類の未来と地域社会の発展に貢献していきます。

詳しくは <https://www.shizuoka.ac.jp/outline/vision/goals/> を参照ください。

総合科学技術研究科のアドミッション・ポリシー

1. 育てる人間像

進展するグローバル化社会のなかで、社会的ニーズや科学技術の課題の解決のために、個別の専門分野を越えて柔軟に対応することができ、研究・開発や企業の海外展開における国際交流に貢献できる理工系人材の育成を目指します。また博士課程でのより高度な研究に取り組むことのできる人材の育成を目指します。

2. 目指す教育

個別的な専門的基礎の上に立って、関連する専攻や自らの有する知識の社会的位置づけをも含めた、より広い融合的な学際分野について俯瞰する能力、外国語で自らの専門分野及び関連する諸分野について理解し、発表し、議論することのできる国際的な対応能力、および博士課程でのより高度な自立的研究の基礎となる能力を修得させます。

3. 求める学生像

現在の様々な社会的・科学技術的な諸問題に対して強い関心があり、研究や科学技術の発展を通じて社会に貢献する強い意欲を持っている学生を求めます。さらに国際的な感覚を有し、海外の学生や研究者と協働して学習および研究や開発を遂行できる学生を求めます。

4. 入学に必要とされる資質・能力

学士課程の個別的な専門分野で形成されるべき基礎的な知識と能力が必要です。またこれらの知識と能力を応用できる思考力、判断力および表現力が必要です。さらに国際的なコミュニケーション能力と共に、多様な人々と協働して学ぶことのできる意欲が必要です。

総合科学技術研究科情報学専攻の アドミッション・ポリシー

1. 育てる人間像

本専攻は、情報技術と人間・社会の整合的な発展、及び新たな情報文化の創造を目標に、日々変化する情報技術と情報社会について豊かな専門的知識と問題解決能力を備えた、望ましい情報社会の構築に貢献しうる高度専門職業人の育成を目指します。

2. 目指す教育

情報科学と情報社会学とが連携・融合した情報学の教育・研究とともに、それぞれに体系的な専門教育を実現するため、3 プログラム制（計算機科学（以下「CS」という。）、行動情報学（以下「BI」という。）、情報社会デザイン（以下「ID」という。））を導入します。

3. 求める学生像

今日の社会の高度情報化に関心をもち、情報科学と情報社会学を連携・融合させる観点から人間と情報技術が調和した情報社会の構築に積極的に貢献する強い意欲、及びそれを裏付ける豊かな専門的知識と技術を備えた人の入学を期待します。

4. 入学に必要とされる資質・能力

情報学専攻が行う入学者選抜試験は、今日の情報社会が直面する諸問題の解決に寄与できる人材となるために必要な能力、学力、適性などを受験者が有しているかを判断するために行われます。社会人受験者に対しては、実務経験を通して培った問題意識を基礎として、情報技術と情報社会への複眼的な視野をもつ高度職業人となるために必要な能力、学力、適性を有しているかを判断します。

5. 入学者選抜の基本方針

《一般入試》

本専攻では、今日の情報社会が直面する諸問題の解決に寄与できる人材の育成を目指しています。そのために必要な能力、学力、適性などを、次の試験で総合的に判断します。

(1) 学力検査

情報学に関する基礎学力、志望するプログラム（CS・BI・ID）に対応する分野の専門的学力及び英語運用能力を判断します。

情報学に関する基礎学力と志望するプログラムに対応する分野の専門的学力については、学力試験を課しその結果により審査します。

英語運用能力については、外部試験の結果により審査します。

(2) 面接・口頭試問

志望理由並びに学習・研究計画書により、志望動機、将来の目標、意欲、熱意などの学習・研究に対する態度、論理的思考力、表現力などを判断します。また、成績証明書により、入学に必要とされる学力、適性を判断します。

《飛び入学特別入試》

本専攻では、今日の情報社会が直面する諸問題の解決に寄与できる人材の育成を目指しています。そのために必要な能力、学力、適性などを、次の試験で総合的に判断します。

(1) 学力検査

情報学に関する基礎学力、志望するプログラム（CS・BI・ID）に対応する分野の専門的学力及び英語運用能力を判断します。情報学に関する基礎学力と志望するプログラムに対応する分野の専門的学力については、学力試験を課しその結果により審査します。

英語運用能力については、外部試験の結果により審査します。

(2) 面接・口頭試問

志望理由並びに学習・研究計画書により、志望動機、将来の目標、意欲、熱意などの学習・研究に対する態度、論理的思考力、表現力などを判断します。また、成績証明書により、入学に必要とされる学力、適性を判断します。

《リカレント教育入試（社会人特別選抜）》

リカレント教育入試（社会人特別選抜）では、実務経験を通して培った問題意識を基礎として、情報技術と情報社会の複眼的な視野をもつ高度職業人たり得る人材かどうかを判断します。そのために必要な能力、学力、適性の有無について、以下のような面接・口頭試問で総合的に判断します。

(1) 面接

志望動機、将来の目標、意欲、熱意などの学習・研究に対する態度を判断します。

(2) 口頭試問

実務経験の内容、専門分野に関する知識の他に、論理的思考力、表現力等を総合的に判断します。今までに行ってきた研究テーマ、または入学後行いたいテーマについての発表を含みます。

《社会人入試》

社会人入試は、実務経験を通して培った問題意識を基礎として、情報技術と情報社会の複眼的な視野をもつ高度職業人たり得る人材かどうかを判断します。そのために必要な能力、学力、適性の有無について、以下の方法で判断します。

(1) 学力検査

英語運用能力について判断します。英語運用能力については、外部試験の結果により審査します。

(2) 面接・口頭試問

志望動機、将来の目標、意欲、熱意などの学習・研究に対する態度、これまでの実務経験の内容、専門分野に関する知識などを総合的に判断します。面接・口頭試問には、今までに行ってきた研究テーマ、または入学後行いたいテーマについての発表を含みます。

《外国人留学生入試》

本専攻では、今日の情報社会が直面する諸問題の解決に寄与できる人材の育成を目指しています。そのために必要な能力、学力、適性などを、次の試験で総合的に判断します。

(1) 学力検査

情報学に関する基礎学力、志望するプログラム（CS・BI・ID）に対応する分野の専門的学力及び英語運用能力を判断します。情報学に関する基礎学力と志望するプログラムに対応する分野の専門的学力については、学力試験を課しその結果により審査します。

(2) 面接・口頭試問

志望理由並びに学習・研究計画書により、志望動機、将来の目標、意欲、熱意などの学習・研究に対する態度、論理的思考力、表現力などを判断します。また、成績証明書により、入学に必要とされる学力、適性を判断します。

《推薦入試》

推薦入試では、情報社会の抱える諸問題の解決に寄与する人材に必要とされる能力、学力、適性を兼ね備えているかどうかを判断します。その方法は、以下のように、学部での学業成績優秀者を対象に、プログラムごとの一次選抜（書類選考）と二次選抜（面接・口頭試問）によって行います。

(1) 一次選抜

出願書類をもとに、情報学に関する基礎学力及び志望する試験科目群に対応する分野の専門的学力を判断し、二次選抜受験有資格者を決定します。

(2) 二次選抜

二次選抜受験有資格者に対し、面接・口頭試問を行います。面接・口頭試問では、志望動機、将来の目標、意欲、熱意などの学習・研究に対する態度、論理的思考力、表現力などを判断します。また、各志願者が出身大学で履修した科目に応じた学力確認及び今までに行ってきた研究テーマ、又は入学後行いたいテーマについても確認します。

《自己推薦型入試》

自己推薦型入試では、情報社会の抱える諸問題の解決に寄与する人材に必要とされる能力、学力、適性を兼ね備えているかどうかを判断します。その方法は、以下のように、学部での学業成績優秀者を対象に、プログラムごとの一次選抜（書類選考）と二次選抜（面接・口頭試問）によって行います。

(1) 一次選抜

出願書類をもとに、情報学に関する基礎学力及び志望する試験科目群に対応する分野の専門的学力を判断し、二次選抜受験有資格者を決定します。

(2) 二次選抜

二次選抜受験有資格者に対し、面接・口頭試問を行います。面接・口頭試問では、志望動機、将来の目標、意欲、熱意などの学習・研究に対する態度、論理的思考力、表現力などを判断します。また、各志願者が出身大学で履修した科目に応じた学力確認及び今までに行ってきた研究テーマ、又は入学後行いたいテーマについても確認します。

I 入試日程

選抜方式	令和 6 年度 一 般 入 試 (10 月入学)	令和 6 年度 外国人留学生 入 試 (10 月入学)	令和 6 年度 社会人入試 (10 月入学)
募集人員	若干名	若干名	若干名
出願資格審査 (該当者のみ)	令和 6 年 5 月 23 日 (木) 申請締切 令和 6 年 5 月 29 日 (水) 結果通知		
出願期間	令和 6 年 7 月 10 日 (水) ～ 7 月 16 日 (火)		
学力検査等	学力試験 令和 6 年 7 月 27 日 (土) 面接・口頭試問 令和 6 年 7 月 28 日 (日)	面接・口頭試問 令和 6 年 7 月 28 日 (日)	
合格発表	令和 6 年 8 月 2 日 (金)		
入学時期	令和 6 年 10 月		

選抜方式	令和 6 年度 自己推薦型入試 (10 月入学)
募集人員	若干名
出願期間	令和 6 年 5 月 20 日 (月) ～ 5 月 24 日 (金)
学力検査等	一次選抜 (書類選考) 令和 6 年 6 月 14 日 (金) までに決定し、通知する
	二次選抜 (面接・口頭試問) 令和 6 年 7 月 6 日 (土)
合格発表	令和 6 年 7 月 12 日 (金)
入学確約書 提出期限	令和 6 年 7 月 19 日 (金)
入学時期	令和 6 年 10 月

Ⅱ 一般入試（10 月入学）募集要項

1. 一般入試の趣旨

本専攻は、情報科学技術と人間・社会の統合的な発展及び新たな情報文化の創造と同時に、今日の情報社会がその解決を迫られながらも従来の情報科学又は情報社会学からの一面的な取組では解決困難な種々の課題を、両者を融合させた複眼的アプローチによって解決する能力を備えた人材の育成を目指しています。革新し続ける情報科学技術と社会の高度情報化の双方に貢献する豊かな専門的知識と問題解決能力を備え、望ましい情報社会の構築に積極的に貢献し得る高度専門職業人を目指す学生を広く受け入れます。

2. 募集人員

情報学専攻 若干名

3. 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者及び令和 6 年 9 月卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第 104 条第 7 項の規定により大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び令和 6 年 9 月までに学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び令和 6 年 9 月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び令和 6 年 9 月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者及び令和 6 年 9 月までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和 6 年 9 月までに授与見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和 6 年 9 月までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者

- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって、本専攻において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
 (10) 本専攻が、個別の入学資格審査を行い、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和6年9月30日までに22歳に達する者

注意：(9) 又は (10) の資格で出願する場合は事前に審査を行い、その適格者に受験を認めます。

4. 出願手続

(1) 出願期間

令和6年7月10日（水）～ 7月16日（火）〔17時00分必着〕

(2) 出願方法

封筒の表に「大学院入学願書在中」と朱書きし、『書留速達』で下記に郵送してください。

記

〒432-8011 静岡県浜松市中央区城北三丁目5-1 静岡大学情報学部教務係

(3) 出願書類等

入学願書 (写真票を含む)	本学所定の様式です。印刷後に必要事項を記入して、写真を貼って提出してください。
学業成績証明書及び卒業（見込）証明書	出身大学長又は学部長が作成したもの。 日本語又は英語で書かれたものを提出してください。それ以外の言語で書かれている場合は和訳又は英訳し、翻訳された内容が原本と相違ないことを大使館、公証役場等で証明を受けて添付してください。 本学情報学部卒業者又は卒業見込みの者は不要です。
志望理由並びに学習・研究計画書	本学所定の様式です。印刷後に必要事項を記入して提出してください。
英語外部試験の成績証明書類の写し	指定された英語外部試験のうち、いずれか1試験の成績証明書類の写し 詳細は「6. 選抜方法」を確認のこと。
入学検定料：30,000円 (振替払込受付証明書)	検定料30,000円は、本学発行の「払込取扱票」により郵便局の受付窓口で払い込んでください。払い込み後に渡される「振替払込受付証明書」を本学所定の様式『入学検定料「振替払込受付証明書」貼付用紙』に貼付し、提出してください。なお、「入学検定料『振替払込受付証明書』貼付用紙」は本学所定の様式です。印刷後に必要事項も記入してください。
返信用封筒	封筒（長形3号：23.5cm×12cm）に郵便番号、住所、氏名を記入して354円分の切手を貼ってください。
あて名シール	合格通知を受け取る郵便番号、住所、氏名を記入して提出してください。 (本学発行の様式の入手はP2の「出願に必要な様式の請求」を参照ください。)

※「入学願書」・「写真票」・「志望理由並びに学習・研究計画書」・「入学検定料『振替払込受付証明書』貼付用紙」は様式をWebから各自でダウンロードして印刷ください。

<https://www.inf.shizuoka.ac.jp/information/graduate.html>

注意

- (1) 他の大学院在学学生又は官公庁、会社等の在職者は、所属長の承諾書（書式自由）を提出してください。
- (2) 出願資格 (2) の「授与される見込み」に該当する場合は、「学士の学位授与申請予定である旨の証明書」（出身学校長が作成したもので書式自由）を提出してください。なお、学位が得られなくなった場合には、速やかに連絡してください。
- (3) 外国籍の方は、在留カードの写しを提出してください。
- (4) 志望する研究指導教員の決定にあたっては、事前に当該の教員と連絡を取り、研究テーマや指導の可能性などについて相談してください。出願に際しては、志望する研究指導教員の許諾を必須とします。教員の連絡先については、目次の頁に記載した情報学部教務係にお尋ねください。

5. 出願資格審査

「3. 出願資格（P11）」の(9) 又は (10) の資格で出願する場合は、事前に資格審査を行います。次の書類を、令和6年5月23日（木）〔必着〕までに情報学部教務係に提出してください。

(1) 提出書類

出願資格審査申請書	(本学所定様式)
推薦書（任意提出資料）	在籍する大学等が作成したもの（書式自由）
成績証明書	最終出身学校長が作成したもの
シラバスの写し	成績証明書に記載された授業科目の講義内容を記載したもの

※「出願資格審査申請書」は様式をWebから各自でダウンロードして印刷してください。

(2) 審査方法

書類審査で行います（書類審査で判定できない場合は、面接審査を実施することがあります）。

(3) 資格審査結果の通知

令和6年5月29日（水）に申請者宛に郵送で通知します。

6. 選抜方法

本専攻では、今日の情報社会が直面する諸問題の解決に寄与できる人材の育成を目指しています。そのために必要な能力、学力、適性などを、次の試験で総合的に判断します。

(1) 学力検査

情報学に関する基礎学力、志望するプログラム（CS・BI・ID）に対応する分野の専門的学力及び英語運用能力を判断します。情報学に関する基礎学力と志望するプログラムに対応する分野の専門的学力については、学力試験を課しその結果により審査します。

英語運用能力について判断します。英語運用能力については、筆記試験は実施せずに以下の3つの外部試験のいずれかの結果により審査します。TOEIC L&R については、令和3年4月1日以降に受験したもの（所属団体・大学のIPテストを含む）を、それ以外の外部試験については、令和4年8月1日以降に受験したものを有効とします。

- TOEIC L&R
- TOEFL iBT (Home Edition を含む)

- IELTS (Academic Module)

英語外部試験の成績証明書類は、試験実施団体が発行したスコアシートや証明書 (Certificate) など、受験者氏名、日付、得点が記載されたものを指します。成績証明書がインターネットでの発行になる場合は、当該ページを印刷したものを添付してください。

外部試験の結果は、The Common European Framework of Reference for Languages (CEFR) の定める換算表を参考に100点満点の得点に換算し、専門科目と合わせて学力検査として審査します。

注意：

出願書類に複数の外部試験結果を同封した場合は、書類が受理されない場合がありますのでご注意ください。

(2) 面接・口頭試問

志望理由並びに学習・研究計画書により、志望動機、将来の目標、意欲、熱意などの学習・研究に対する態度、論理的思考力、表現力などを判断します。また、成績証明書により、入学に必要とされる学力、適性を判断します。

(3) 配点

選抜は、以下に示す試験科目・配点に基づいて行います。原則として、学力検査及び面接・口頭試問の得点が共に配点の50%以上である者に対して合計点によって順位付けを行い、上位のものから順に合格とします。各プログラムの試験科目の出題内容は、「VI 一般入試・外国人留学生入試の出題分野等 (P29)」を参考にしてください。

学力検査		面接・口頭試問
専門科目	英 語	
200	100	100

7. 学力検査等日程

プログラム名	年 月 日	時 間	試 験 科 目
CS	令和6年7月27日（土）	13時00分～15時00分	専門科目：「情報科学」 （以下の5分野から3つを選択し解答する） 「数学・数理系」「ソフトウェア系」 「ハードウェア系」「OSとネットワーク」 「ヒューマンサイエンス系」
	令和6年7月28日（日）	13時00分～	面接・口頭試問
BI	令和6年7月27日（土）	13時00分～15時00分	専門科目：「行動情報学」 （以下の2分野を解答する） 「情報処理」「情報システムとデータ分析」
	令和6年7月28日（日）	13時00分～	面接・口頭試問
ID	令和6年7月27日（土）	13時00分～15時00分	専門科目：「情報社会デザイン」 （以下の1分野を解答する） 「情報社会デザイン」
	令和6年7月28日（日）	13時00分～	面接・口頭試問

8. 試験場

静岡大学情報学部 静岡県浜松市中央区城北三丁目5-1

試験室等の詳細は、受験票送付の際に通知します。

9. 合格者発表

令和6年8月2日（金）12時00分（予定）に静岡大学情報学部2号館玄関に掲示するとともに、合格者本人に通知します。また、本専攻のホームページでも発表します。

<https://www.inf.shizuoka.ac.jp/information/graduate.html>

10. 入学手続き（概要）

入学手続きに関する詳細は、合格者に別途通知します。

入学料 282,000円（令和6年度実績額）

授業料 年額 535,800円（半期分：267,900円）（令和6年度実績額）

注意

- (1) 後期分の授業料については、令和6年10月1日～同年10月31日の間に納入してください。
- (2) 入学手続き完了者が入学を辞退した場合は、入学料はいかなる理由があっても返還しません。
- (3) 本学では、文部科学省の定める標準額に準拠することとしています。
- (4) 入学時及び在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

11. 入学時期

令和6年10月

12. 注意事項

- (1) 出願手続後の提出書類の内容変更は認めません。
- (2) 検定料の返還については、「**X II** その他の注意事項 (P41)」をお読みください。
- (3) 入学試験に関する照会は、返信用封筒（84円切手を貼付すること。）を同封して下記に照会してください。

記

〒432-8011 静岡県浜松市中央区城北三丁目5-1 静岡大学情報学部教務係

Ⅲ 自己推薦型入試（10 月入学）募集要項

1. 自己推薦型入試の趣旨

本専攻は、人間・環境・情報技術が調和する「情報社会」をつくりあげるために、情報科学技術の応用と、人間の行動あるいは情報社会の視点からの考察の両面から、諸問題の解決に取り組みます。従来の情報科学（情報技術、情報数理）、行動情報学（データサイエンス、サービス創出、マネジメント）、そして情報社会学（メディア、コミュニケーション、ソサエティ、コミュニティ）それぞれの一面的な取組では解決困難な種々の課題を、三者を融合させた複眼的アプローチによって解決する能力を備えた人材の育成を目指しています。革新し続ける情報科学技術、データ利活用技術の高度化、社会の高度情報化に貢献する豊かな専門的知識と問題解決能力を備え、望ましい情報社会の構築に積極的に貢献し得る高度専門職業人を目指す学生を広く受け入れます。

本入試制度では既存の学問体系の枠を超えた学際的学問分野等の開拓の重要性という社会的要請に応えるべく、本学出身者及び多くの大学、学部出身の学生にも門戸を広げた自己推薦型入試を実施します。すなわち、本学及び他大学出身者で、学問・研究に積極的かつ優秀な学生であれば、他分野を専攻したものも含め、入学を歓迎するというもので、その選考は、出願書類の審査及び面接試験によって行う特別の制度です。

2. 募集人員

情報学専攻 若干名

3. 出願資格

情報科学、行動情報学、情報社会学に深い関心と熱意を有し、学業成績が優秀で創造的な研究活動に意欲的に取り組めるものであり、入試に合格した場合、入学を確約できるもので、令和 2 年 10 月に大学に入学し、令和 6 年 9 月卒業見込みの者。

4. 出願手続

(1) 出願期間

令和6年5月20日（月）～ 5月24日（金）〔17時00分必着〕

(2) 出願方法

封筒の表に「大学院入学願書在中」と朱書きし、『書留速達』で下記に郵送してください。

記

〒432-8011 静岡県浜松市中央区城北三丁目5-1 静岡大学情報学部教務係

(3) 出願書類等

入学願書 (写真票を含む。)	本学所定の様式です。印刷後に必要事項を記入して、写真を貼って提出してください。
学業成績証明書及び 卒業見込証明書	在籍大学の学長又は学部長が作成したもの 本学情報学部卒業見込みの者は不要です。
志望理由並びに学習・ 研究計画書	本学所定の様式です。印刷後に必要事項を記入して提出してください。
自己推薦書	本学所定の様式です。必要事項を記入して提出してください。
入学検定料：30,000円 (振替払込受付証明書)	検定料30,000円は、本学発行の「払込取扱票」により郵便局の受付窓口で払い込んでください。払い込み後に渡される「振替払込受付証明書」を本学所定の様式『入学検定料「振替払込受付証明書」貼付用紙』に貼付し、提出してください。なお、「入学検定料『振替払込受付証明書』貼付用紙」は本学所定の様式です。印刷後に必要事項も記入してください。
返信用封筒	封筒（長形3号：23.5cm×12cm）に郵便番号、住所、氏名を記入して354円分の切手を貼ってください。
あて名シール	合格通知を受け取る郵便番号、住所、氏名を記入して提出してください。 (本学発行の様式の入手はP2の「出願に必要な様式の請求」を参照ください。)

※「入学願書」・「写真票」・「志望理由並びに学習・研究計画書」・「自己推薦書」・「入学検定料『振替払込受付証明書』貼付用紙」は様式を Web から各自でダウンロードして印刷ください。

<https://www.inf.shizuoka.ac.jp/information/graduate.html>

注意

- (1) 外国籍の方は、在留カードの写しを提出してください。
- (2) 志望する研究指導教員の決定にあたっては、事前に当該の教員と連絡を取り、研究テーマや指導の可能性などについて相談してください。教員の連絡先については、目次の頁に記載した情報学部教務係にお尋ねください。

5. 選抜の方針と方法

自己推薦型入試では、情報社会の抱える諸問題の解決に寄与する人材に必要とされる能力、学力、適性を兼ね備えているかどうかを判断します。その方法は、以下のように、学部での学業成績優秀者を対象に、プログラムごとの一次選抜（書類選考）と二次選抜（面接・口頭試問）によって行います。

(1) 一次選抜

出願書類をもとに、情報学に関する基礎学力及び志望する試験科目群に対応する分野の専門的学力を判断し、二次選抜受験有資格者を決定します。一次選抜の結果は、令和6年6月14日（金）に出願者全員に郵送にて連絡します。本学在籍者については情報学部2号館玄関に掲示します。

(2) 二次選抜

二次選抜受験有資格者に対し、面接・口頭試問を行います。面接・口頭試問では、志望動機、将来の目標、意欲、熱意などの学習・研究に対する態度、論理的思考力、表現力などを判断します。また、各志願者が出身大学で履修した科目に応じた学力確認及び今までに行ってきた研究テーマ、または入学後行いたいテーマについても

確認します。提出された自己推薦書については、学習意欲・積極性・知的好奇心などを評価します。

二次選抜日時：令和6年7月6日（土）9時00分～

二次選抜会場：静岡大学情報学部（詳細については二次選抜受験有資格者に通知します）

(3) 配点

選抜は、以下に示す配点に基づいて行います。

面接・口頭試問	自己推薦書
100	100

6. 合格者発表

令和6年7月12日（金）12時00分（予定）に静岡大学情報学部2号館玄関に掲示すると共に、合格者本人に通知します。また、本専攻のホームページでも発表します。

<https://www.inf.shizuoka.ac.jp/information/graduate.html>

7. 入学確約書

自己推薦型入試合格者は、令和6年7月19日（金）までに「入学確約書」を提出してください。期限までに提出しない者は、入学を許可されないことがあります。

8. 入学手続き（概要）

入学手続きに関する詳細は、合格者に別途通知します。

入学料 282,000円（令和6年度実績額）

授業料 年額 535,800円（半期分：267,900円）（令和6年度実績額）

注意

- (1) 後期分の授業料については、令和6年10月1日～同年10月31日の間に納入してください。
- (2) 入学手続き完了後は、入学料はいかなる理由があっても返還しません。
- (3) 本学では、文部科学省の定める標準額に準拠することとしています。
- (4) 入学時及び在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

9. 入学時期

令和6年10月

10. 注意事項

- (1) 出願手続後の提出書類の内容変更は認めません。
- (2) 検定料の返還については、「**X II** その他の注意事項（P41）」をお読みください。
- (3) 入学試験に関する照会は、返信用封筒（84円切手を貼付すること。）を同封して下記に照会してください。

記

静岡大学情報学部教務係 〒432-8011 静岡県浜松市中央区城北三丁目5-1

Ⅳ 社会人入試（10月入学）募集要項

1. 社会人入試の趣旨

高度情報化する現代社会において、情報技術の高度な知識と運用能力をもつと同時に、社会システムの急速な変容を理解し、柔軟に対応し得る人材は、今まさに地域社会から求められています。本専攻では、最先端の情報技術と情報社会に対する複眼的な視野をもつ高度専門職業人を志向する企業等の組織人及び一般社会人に教育・研究の場を広く提供します。なお、同じく社会人を対象とした「リカレント教育」は、社会人の再教育を主目的としているために、一般入試等による入学者とは若干異なった学習内容、学習時間で教育・研究を進めることになりますが、社会人入試の場合には、一般入試等による入学者と同じ学習内容、学習時間で教育・研究を行います。

2. 募集人員

情報学専攻 若干名

3. 出願資格

次のいずれかに該当する者

(1) 大学を卒業した者で、令和6年9月末日までに3年以上の実務経験を有する者。ここで、「大学卒業」とは、次のいずれかに該当することをいいます。

- ① 大学を卒業した者
- ② 学校教育法第104条第7項の規定により大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者
- ③ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者
- ⑥ 外国の大学その他の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって

前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者

⑦ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

⑧ 文部科学大臣の指定した者

(2) 本専攻が、個別の入学資格審査を行い、(1)の者と同等以上の学力があると認めた者で、令和6年9月30日までに25歳に達する者

注意:(2) の資格で出願する場合は事前に審査を行い、その適格者に受験を認めます。

4. 出願手続

(1) 出願期間

令和6年7月10日（水）～ 7月16日（火）〔17時00分必着〕

(2) 出願方法

封筒の表に「大学院入学願書在中」と朱書きし、『書留速達』で下記に郵送してください。

記

〒432-8011 静岡県浜松市中央区城北三丁目5-1 静岡大学情報学部教務係

(3) 出願書類等

入学願書 (写真票を含む)	本学所定の様式です。印刷後に必要事項を記入して、写真を貼って提出してください。
学業成績証明書及び 卒業証明書	出身大学の学長又は学部長が作成したもの 日本語又は英語で書かれたものを提出してください。それ以外の言語で書かれている場合は和訳又は英訳し、翻訳された内容が原本と相違ないことを大使館、公証役場等で証明を受けて添付してください。 本学情報学部卒業生は不要です。
志望理由並びに学習・ 研究計画書	本学所定の様式です。印刷後に必要事項を記入して提出してください。
英語外部試験の成績証 明書類の写し	指定された英語外部試験のうち、いずれか1試験の成績証明書類の写し 詳細は「6. 選抜の方針と方法」を確認のこと。
職務経歴報告書	現在までに携わってきた職務のうち、特に入学後の研究計画に関連する内容をまとめたもの。（本学所定用紙）
推薦書（任意提出資 料）	勤務先の所属長が記入し、厳封のこと。（書式自由）
入学検定料：30,000円 (振替払込受付証明 書)	検定料30,000円は、本学発行の「払込取扱票」により郵便局の受付窓口で払い込んでください。払い込み後に渡される「振替払込受付証明書」を本学所定の様式『入学検定料「振替払込受付証明書」貼付用紙』に貼付し、提出してください。なお、「入学検定料『振替払込受付証明書』貼付用紙」は本学所定の様式です。印刷後に必要事項も記入してください。

返信用封筒	封筒（長形3号：23.5cm×12cm）に郵便番号、住所、氏名を記入して354円分の切手を貼ってください。
あて名シール	合格通知を受け取る郵便番号、住所、氏名を記入して提出してください。 （本学発行の様式の入手はP2の「出願に必要な様式の請求」を参照ください。）

※「入学願書」・「写真票」・「志望理由並びに学習・研究計画書」・「職務経歴報告書」・「入学検定料『振替払込受付証明書』貼付用紙」は様式を Web から各自でダウンロードして印刷してください。

<https://www.inf.shizuoka.ac.jp/information/graduate.html>

注意

- (1) 外国籍の方は、在留カードの写しを提出してください。
- (2) 志望する研究指導教員の決定にあたっては、事前に当該の教員と連絡を取り、研究テーマや指導の可能性などについて相談してください。出願に際しては、志望する研究指導教員の許諾を必須とします。教員の連絡先については、目次の頁に記載した情報学部教務係にお尋ねください。

5. 出願資格審査

「3. 出願資格（P20）」の（2）の資格で出願する場合は、事前に資格審査を行います。次の書類を、令和6年5月23日（木）〔必着〕までに情報学部教務係に提出してください。

(1) 提出書類

出願資格審査申請書	（本学所定用紙）
推薦書（任意提出資料）	勤務先の所属長等が記入したもの（書式自由）
成績証明書	最終出身学校長が作成したもの

※「出願資格審査申請書」は様式をWebから各自でダウンロードして印刷してください。

(2) 審査方法

書類審査で行います（書類審査で判定できない場合は、面接審査を実施することがあります）。

(3) 資格審査結果の通知

令和6年5月29日（水）に申請者宛に郵送で通知します。

6. 選抜の方針と方法

社会人入試は、実務経験を通して培った問題意識を基礎として、情報技術と情報社会の複眼的な視野をもつ高度職業人たり得る人材かどうかを判断します。そのために必要な能力、学力、適性の有無について、以下の方法で判断します。

(1) 学力検査

英語運用能力について判断します。英語運用能力については、筆記試験は実施せずに以下の3つの外部試験のいずれかの結果により審査します。TOEIC L&R については、令和3年4月1日以降に受験したもの（所属団体・大学のIPテストを含む）を、それ以外の外部試験については、令和4年8月1日以降に受験したものを有効とします。

- TOEIC L&R
- TOEFL iBT (Home Edition を含む)
- IELTS (Academic Module)

英語外部試験の成績証明書類は、試験実施団体が発行したスコアシートや証明書（Certificate）など、受験者氏名、日付、得点が記載されたものを指します。成績証明書がインターネットでの発行になる場合は、当該ページを印刷したものを添付してください。

外部試験の結果は、The Common European Framework of Reference for Languages (CEFR) の定める換算表を参考に100点満点の得点に換算して審査します。

注意：

出願書類に複数の外部試験結果を同封した場合は、書類が受理されない場合がありますのでご注意ください。

(2) 面接・口頭試問

志望動機、将来の目標、意欲、熱意などの学習・研究に対する態度、これまでの実務経験の内容、専門分野に関する知識などを総合的に判断します。面接・口頭試問には、今までに行ってきた研究テーマ、または入学後行いたいテーマについての10分程度の発表を含みます。ノートパソコン等を用いてプレゼンテーション（HDMIでの出力）を行うことができます。

(3) 配点

選抜は、以下に示す試験科目・配点に基づいて行います。原則として、学力検査及び面接・口頭試問の得点が共に配点の50%以上である者に対して合計点によって順位付けを行い、上位のものから順に合格とします。

学力検査	面接・口頭試問
英語	
100	

7. 学力検査等日程

プログラム名	年 月 日	時 間	試 験 科 目
CS BI ID	令和6年7月28日（日）	9時00分～	面接・口頭試問 (今まで行ってきた研究テーマ、又は入学後行いたいテーマについて10分程度の発表を含む)

8. 試験場

静岡大学情報学部 静岡県浜松市中央区城北三丁目5-1
試験室等の詳細は、受験票送付の際に通知します。

9. 合格者発表

令和6年8月2日（金）12時00分（予定）に静岡大学情報学部2号館玄関に掲示するとともに、合格者本人に通知します。また、本専攻のホームページでも発表します。

<https://www.inf.shizuoka.ac.jp/information/graduate.html>

10. 入学手続き（概要）

入学手続きに関する詳細は、合格者に別途通知します。

入学料 282,000円（令和6年度実績額）

授業料 年額 535,800円（半期分：267,900円）（令和6年度実績額）

注意

- (1) 後期分の授業料については、令和6年10月1日～同年10月31日の間に納入してください。
- (2) 入学手続き完了後は、入学料はいかなる理由があっても返還しません。
- (3) 本学では、文部科学省の定める標準額に準拠することとしています。
- (4) 入学時及び在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

11. 入学時期

令和6年10月

12. 注意事項

- (1) 出願手続後の提出書類の内容変更は認めません。
- (2) 検定料の返還については、「**X II** その他の注意事項（P41）」をお読みください。
- (3) 入学試験に関する照会は、返信用封筒（84円切手を貼付すること。）を同封して下記に照会してください。

記

〒432-8011 静岡県浜松市中央区城北三丁目 5-1 静岡大学情報学部教務係

V 外国人留学生入試（10月入学）募集要項

1. 外国人留学生入試の趣旨

高度情報化する現代社会において、情報技術の高度な知識と運用能力をもつと同時に、社会システムの急速な変容を理解し、柔軟に対応し得る人材は、今まさに地域社会のみならず国際社会からも求められています。

本専攻は、国際化を進め、国際交流を深め、アジアの中の先進国としての教育的責務を果たして行くために、海外の留学生を積極的に受け入れます。

2. 募集人員

情報学専攻 若干名

3. 出願資格

日本国籍を有しない者で、次のいずれかに該当する者

- (1) 外国における学校教育で16年の課程を修了（令和6年9月までに修了見込みの者を含む。）した者
- (2) 外国の大学その他の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和6年9月までに授与見込みの者
- (3) 本専攻が、個別の入学資格審査を行い、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和6年9月30日までに22歳に達する者

4. 出願手続

(1) 出願期間

令和6年7月10日（水）～ 7月16日（火）〔17時00分必着〕

(2) 出願方法

封筒の表に「大学院入学願書在中」と朱書きし、『書留速達』で下記に郵送してください。

記

〒432-8011 静岡県浜松市中央区城北三丁目5-1 静岡大学情報学部教務係

(3) 出願書類等

入学願書 (写真票を含む)	本学所定の様式です。印刷後に必要事項を記入して、写真を貼って提出してください。
学業成績証明書及び 卒業（見込）証明書	出身大学長又は学部長が作成したもの 日本語又は英語で書かれたものを提出してください。それ以外の言語で書かれている場合は和訳又は英訳し、翻訳された内容が原本と相違ないことを大使館、公証役場等で証明を受けて添付してください。
志望理由並びに学習・ 研究計画書	本学所定の様式です。印刷後に必要事項を記入して提出してください。
入学検定料：30,000円 (振替払込受付証明書)	検定料30,000円は、本学発行の「払込取扱票」により郵便局の受付窓口で払い込んでください。払い込み後に渡される「振替払込受付証明書」を本学所定の様式『入学検定料「振替払込受付証明書」貼付用紙』に貼付し、提出してください。なお、「入学検定料『振替払込受付証明書』貼付用紙」は本学所定の様式です。印刷後に必要事項も記入してください。
返信用封筒	封筒（長形3号：23.5cm×12cm）に郵便番号、住所、氏名を記入して354円分の切手を貼ってください。
在留カード等	在留カードの写しとパスポート（写真の頁）の写し
あて名シール	合格通知を受け取る郵便番号、住所、氏名を記入して提出してください。 (本学発行の様式の入手はP2の「出願に必要な様式の請求」を参照ください。)

※「入学願書」・「写真票」・「志望理由並びに学習・研究計画書」・「入学検定料『振替払込受付証明書』貼付用紙」は様式を Web から各自でダウンロードして印刷ください。

<https://www.inf.shizuoka.ac.jp/information/graduate.html>

注意：志望する研究指導教員の決定にあたっては、事前に当該の教員と連絡を取り、研究テーマや指導の可能性などについて相談してください。出願に際しては、志望する研究指導教員の許諾を必須とします。教員の連絡先については、目次の頁に記載した情報学部教務係にお尋ねください。

5. 出願資格審査

「3. 出願資格（P25）」の（3）の資格で出願する場合は、事前に資格審査を行います。次の書類を、令和6年5月23日（木）〔必着〕までに情報学部教務係に提出してください。

(1) 提出書類

出願資格審査申請書	(本学所定用紙)
学位記等の写し	学士の学位取得を証明するもの（日本語訳を添えること）

※「出願資格審査申請書」は様式を Web から各自でダウンロードして印刷してください。

(2) 審査方法

書類審査で行います（書類審査で判定できない場合は、面接審査を実施することがあります）。

(3) 資格審査結果の通知

令和6年5月29日（水）に申請者宛に郵便で通知します。

6. 選抜方法

本専攻では、今日の情報社会が直面する諸問題の解決に寄与できる人材の育成を目指しています。そのために必要な能力、学力、適性などを、次の試験で総合的に判断します。

(1) 学力検査

情報学に関する基礎学力、志望するプログラム（CS・BI・ID）に対応する分野の専門的学力及び英語運用能力を判断します。情報学に関する基礎学力と志望するプログラムに対応する分野の専門的学力については、学力試験を課しその結果により審査します。

(2) 面接・口頭試問

志望理由並びに学習・研究計画書により、志望動機、将来の目標、意欲、熱意などの学習・研究に対する態度、論理的思考力、表現力などを判断します。また、成績証明書により、入学に必要とされる学力、適性を判断します。

(3) 配点

選抜は、以下に示す試験科目・配点に基づいて行います。原則として、学力検査及び面接・口頭試問の得点が共に配点の50%以上である者に対して合計点によって順位付けを行い、上位のものから順に合格とします。各プログラムの試験科目の出題内容は、「**Ⅵ 一般入試・外国人留学生入試の出題分野等（P29）**」を参考にしてください。

学力検査	面接・口頭試問
専門科目	
100	100

7. 学力検査等日程

プログラム名	年 月 日	時 間	試 験 科 目
CS	令和6年7月27日（土）	13時00分～15時00分	専門科目：「情報科学」 （以下の5分野から3つを選択し解答する） 「数学・数理系」「ソフトウェア系」 「ハードウェア系」「OSとネットワーク」 「ヒューマンサイエンス系」
	令和6年7月28日（日）	9時00分～	面接・口頭試問
BI	令和6年7月27日（土）	13時00分～15時00分	専門科目：「行動情報学」 （以下の2分野を解答する） 「情報処理」「情報システムとデータ分析」
	令和6年7月28日（日）	9時00分～	面接・口頭試問
ID	令和6年7月27日（土）	13時00分～15時00分	専門科目：「情報社会デザイン」 （以下の1分野を解答する） 「情報社会デザイン」
	令和6年7月28日（日）	9時00分～	面接・口頭試問

8. 試験場

静岡大学情報学部 静岡県浜松市中央区城北三丁目5-1

試験室等の詳細は、受験票送付の際に通知します。

9. 合格者発表

令和6年8月2日（金）12時00分（予定）に静岡大学情報学部2号館玄関に掲示するとともに、合格者本人に通知します。また、本専攻のホームページでも発表します。

<https://www.inf.shizuoka.ac.jp/information/graduate.html>

10. 入学手続き（概要）

入学手続きに関する詳細は、合格者に別途通知します。

入学料 282,000円（令和6年度実績額）

授業料 年額 535,800円（半期分：267,900円）（令和6年度実績額）

注意

- (1) 後期分の授業料については、令和6年10月1日～同年10月31日の間に納入してください。
- (2) 入学手続き完了後は、入学料はいかなる理由があっても返還しません。
- (3) 本学では、文部科学省の定める標準額に準拠することとしています。
- (4) 入学時及び在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

11. 入学時期

令和6年10月

12. 注意事項

- (1) 出願手続後の提出書類の内容変更は認めません。
- (2) 検定料の返還については、「**X II** その他の注意事項（P41）」をお読みください。
- (3) 入学試験に関する照会は、返信用封筒（84円切手を貼付すること。）を同封して下記に照会してください。

記

〒432-8011 静岡県浜松市中央区城北三丁目5-1 静岡大学情報学部教務係

VI 一般入試・外国人留学生入試の出題分野等

CS プログラム

専門科目：「情報科学」

【数学・数理系】【ソフトウェア系】【ハードウェア系】【OS とネットワーク】【ヒューマンサイエンス系】の 5 つの出題分野から 3 つを選び解答のこと。

【数学・数理系】

(項目)	(主な内容)
微分積分	微分法、偏微分法、不定積分、定積分、多重積分、微分方程式、フーリエ級数、複素積分
線形代数	線形空間、線形写像、行列式、固有値と固有ベクトル、線形方程式
集合と確率	集合演算、関係、順序集合、写像、順列・組合せ、条件付き確率、確率分布
代数学	群・環・体、可換群、剰余類体、ガロア体
グラフ理論	道と閉路、最短経路問題、ネットワーク、同型
情報理論と符号理論	情報量、エントロピー、相互情報量、情報源符号化、通信路符号化、誤り訂正符号、線形符号、巡回符号、リードソロモン符号、畳み込み符号、暗号
オートマトンと言語理論	正規表現と有限オートマトン、文脈自由文法、プッシュダウンオートマトン、チューリング機械
数理論理	命題論理、述語論理、標準形、シーケント計算(LK)

〔参考書〕（例えば、以下の書籍を参考にしてください。）

- ・ 飯島徹穂『Ability 数学 微分積分』共立出版 2005
- ・ 中谷広正、新谷誠、宮崎佳典、松田健『理工系のためのベクトル解析-多変数関数の微分積分』東京図書 2016
- ・ 宮崎佳典、新谷誠、中谷広正『理工系のための離散数学』東京図書 2013
- ・ 松田健他『基礎から身につける線形代数』共立出版 2014
- ・ 杉浦彰彦他『マルチメディア情報符号化の基礎と応用』コロナ社 2020
- ・ 藤原良他『符号と暗号の数理』共立出版 1993
- ・ 島田良作他『わかる情報理論』日新出版 1982
- ・ 小野寛晰『情報科学における論理（情報数学セミナー）』日本評論社 1994
- ・ R. J. ウィルソン原著、西関隆夫訳、西関裕子訳『グラフ理論入門 原書第 4 版』近代科学社 2001
(Robin J. Wilson: *Introduction to Graph Theory* (4th ed.), Prentice Hall, 1996)
- ・ 岩間一雄『オートマトン・言語と計算理論』（電子情報通信レクチャーシリーズ）コロナ社 2003

【ソフトウェア系】

〔アルゴリズムとデータ構造〕

(項目)	(主な内容)
アルゴリズム	アルゴリズムと計算量、探索、整列(ソート)
データ構造	配列、連結リスト、双方向リスト、木構造
プログラミング	制御構造、関数、手続き、再帰呼び出し
プログラミング方法論	構造化プログラミング、データ抽象、ソフトウェアのライフサイクル

注：出題にはプログラミング言語 C を用いる。

〔知能システム〕

(項目)	(主な内容)
人工知能	状態空間表現と探索、プロダクションシステム、意味ネットワークとフレーム、学習と認識、動的計画法、識別モデル、生成モデル、隠れマルコフモデル、確率モデル、最尤推定、ベイズフィルタ、強化学習、ニューラルネットワーク、機械学習
デジタル信号処理	離散フーリエ変換、畳み込み、標本化、スペクトル解析と窓関数、デジタルフィルタ

〔参考書〕（例えば、以下の書籍を参考にしてください。）

- ・ 近藤嘉雪『定本 Java プログラマのためのアルゴリズムとデータ構造』ソフトバンク 2011
- ・ 近藤嘉雪『定本 C プログラマのためのアルゴリズムとデータ構造』ソフトバンク 1998
- ・ Mark Allen Weiss: *Data Structure and Problem Solving Using C++*, Addison-Wesley 1999
- ・ 岩沼宏治他『データ構造とアルゴリズム』（電子情報通信レクチャーシリーズ）コロナ社 2018
- ・ 荒屋真『人工知能概論(第2版)』共立出版 2004
- ・ 谷口忠大『人工知能概論』講談社 2014
- ・ 樋口龍雄、川又政征『MATLAB 対応デジタル信号処理』森北出版 2015
- ・ 荒木雅弘『フリーソフトではじめる機械学習入門』森北出版 2018
- ・ クリストファー M ビショップ著、元田浩ほか監訳『パターン認識と機械学習 上／下』丸善出版 2012

【ハードウェア系】

(項目)	(主な内容)
数の表現	2進数、10進数、補数、四則演算
ブール代数	基本公式、標準形（積和、和積）、論理式の簡単化
論理回路	基本論理ゲート、組合せ回路・順序回路の設計、加算器、フリップフロップ、状態図、レジスタ、カウンタ、同期回路
制御回路	状態遷移図
計算機の構成と機能	CPU、パイプライン、メモリ、キャッシュ、入出力
機械語命令とアドレッシング	命令の形式、アドレッシング（配列、レコード、スタック、リストの実現）、命令実行サイクル、分岐、ループ、サブルーチン、データ構造、特権モード、入出力、割込み

〔参考書〕（例えば、以下の書籍を参考にしてください。）

- ・ 柴山潔『コンピュータサイエンスで学ぶ論理回路とその設計』近代科学社 1999
- ・ 飯田全広『はじめての論理回路』近代科学社 2018 (1～13章)
- ・ 柴山潔『改訂新版 コンピュータアーキテクチャの基礎』近代科学社 2003
- ・ M. Morris Mano: *Digital Logic and Computer Design*, Prentice-Hall, 1979
- ・ デイビッド・A・パターソン著、ジョン・L・ヘネシー著、成田光彰訳『コンピュータの構成と設計 ハードウェアとソフトウェアのインタフェース 第3版』（上・下）日経 BP 社 2006
- ・ 小柳滋、内田啓一郎『IT Text コンピュータアーキテクチャ（改訂2版）』オーム社 2019
- ・ 馬場敬信『コンピュータのしくみを理解するための10章』技術評論社 2005 (4～9章)
- ・ D. A. Patterson & J. L. Hennessy: *Computer Organization and Design: the Hardware/Software Interface* (4th ed.), Morgan Kaufmann, 2008

【OS とネットワーク】

(項目)	(主な内容)
------	--------

OS 基礎	スケジューリング、入出力、ファイル管理、記憶管理
ネットワーク基礎	プロトコルの階層構成、パケット交換と回線交換、ネットワークトポロジ、誤り制御、経路制御、フロー制御
インターネットプロトコル	TCP/IP、IP ルーティング、TCP フロー制御
ネットワーク応用	電子メール、WWW、ネットワーク管理、クライアント・サーバシステム、ネットワークセキュリティ

〔参考書〕（例えば、以下の書籍を参考にしてください。）

- A. S. Tanenbaum: *Modern Operating Systems* (2nd ed.), Prentice-Hall, 2001 (水野忠則、太田剛、最所圭三、福田晃、吉澤康文 共訳『モダンオペレーティングシステム 原著第 2 版』ピアソンエデュケーション 2004)
- A. S. Tanenbaum, D. J. Wetherall: *Computer Networks* (5th ed.), Prentice-Hall, 2010 (水野忠則、相田仁、東野輝夫、太田賢、西垣正勝、渡辺尚 共訳『コンピュータネットワーク 第 5 版』日経 BP 社 2013)
- A. S. Tanenbaum & M. V. Steen: *Distributed Systems Principles and Paradigms* (2nd ed.), Prentice-Hall, 2007 (水野忠則、東野輝夫、宮西洋太郎、鈴木健二、西山智、佐藤文明 共訳『分散システム 原理とパラダイム』ピアソンエデュケーション 2003)
- 松尾啓志『オペレーティングシステム』（情報工学レクチャーシリーズ）森北出版 2005

【ヒューマンサイエンス系】

（項目）	（主な内容）
認知科学	情報処理モデル、シンボル（表象）、スキーマ、ヒューリスティックス、知能、知識、常識、判断、推論、問題解決、思考、学習、認知的合理性、認知バイアス、コネクショニズム、社会、集団
人間情報学	ヒューマンインタフェース、ヴィジョン、バーチャルリアリティ、知的インタラクション、マルチモーダルインタラクション、ペイジアンネットワーク
心理学	感覚、知覚、運動、感情、記憶、意識、予測、事後測（ポストディクション）、脳の機能局在、脳機能計測（fMRI, PET, EEG, TMS）

〔参考書〕（例えば、以下の書籍を参考にしてください。）

- 鈴木宏昭『教養としての認知科学』東京大学出版社 2016
- 安西祐一郎『心と脳—認知科学入門』岩波新書 2011
- 川畑直人（監修）、大島 剛（監修）、郷式 徹（監修、編集）、西垣順子（編集）『学習・言語心理学:支援のために知る「行動の変化」と「言葉の習得」』（公認心理師の基本を学ぶテキスト 8）ミネルヴァ書房 2019（遠山紗矢香 著 学習と問題解決（4 章, pp.59-74）、社会や集団での学習（5 章, pp.75-89））
- 宮崎真、阿部匡樹、山田祐樹他『日常と非日常からみる こころと脳の科学』コロナ社 2017

BI プログラム

専門科目：「行動情報学」

【情報処理】

(項目)	(主な内容)
アルゴリズム	アルゴリズムと計算量、検索、ソート、再帰
データ構造	静的データ構造、動的データ構造
プログラミング	制御構造、関数、手続き、構造化プログラミング、データ抽象、ソフトウェアのライフサイクル
オペレーティングシステム	OS の機能と構成、ジョブ管理、タスク管理、データ管理、記憶管理
ネットワーク	ネットワークの種類と特徴、無線 LAN と有線 LAN、インターネット技術、通信プロトコル、ネットワーク管理
セキュリティ	情報セキュリティの目的と重要性、セキュリティ技術、情報セキュリティ管理、ネットワークセキュリティ

注：出題にはプログラミング言語 Java を用いる。

〔参考書〕（例えば、以下の書籍を参考にしてください。）

- ・ 岩沼宏治他『データ構造とアルゴリズム』（電子情報通信レクチャーシリーズ）コロナ社 2018
- ・ 大久保英嗣『オペレーティングシステムの基礎』サイエンス社 1997
- ・ 近藤嘉雪『定本Java プログラマのためのアルゴリズムとデータ構造』ソフトバンク 2011
- ・ ジョン・ベントリー『珠玉のプログラミング』丸善出版 2014
- ・ 水野忠則他『コンピュータネットワーク概論（未来へつなぐ デジタルシリーズ 27）』共立出版 2014
- ・ ロス・アンダーソン『情報セキュリティ技術大全—信頼できる分散システム構築のために』日経BP 社 2002
- ・ Andrew S. Tanenbaum et al.: Computer Networks, 6th ed. 2021
- ・ Abraham Silberschatz et al.: Operating System Concepts, 10th ed., 2021
- ・ Jon Bentley: *Programming Pearls*, 2nd ed., Addison-Wesley, 2000
- ・ J. Glenn Brookshear 著、神林靖訳、長尾高弘訳『入門 コンピュータ科学 IT を支える技術と理論の基礎知識』KADOKAWA/アスキー・メディアワークス 2014
- ・ Robert Lafore: *Data Structure and Algorithms in Java*, 2nd ed., Sams, 2002
- ・ Ross J. Anderson: *Security Engineering: A Guide to Building Dependable Distributed Systems*, 3rd ed., Wiley, 2020

【情報システムとデータ分析】

(項目)	(主な内容)
情報システム基礎	情報システムとは、情報システムとコンピュータ、情報システムの活用、情報システムの構築
モデリング	問題発見と問題解決、ビジネスモデリング、オブジェクト指向の概念、情報システムモデリング、UML、開発モデル、開発プロセス
開発プロセス	ソフトウェアライフサイクル、プロセスモデル
分析・設計・開発方法論	構造化分析／設計、オブジェクト指向分析／設計／開発、UML、デザインパターン
ソフトウェア品質	レビュー、テスト技法、メトリックス、再利用
データベース	データベース設計、E-R モデル、関係データモデル、正規化、関係データベース、SQL、トランザクション制御、障害時回復
確率統計とデータ分析	確率・統計、実験・調査計画、機械学習、回帰問題、分類問題

〔参考書〕（例えば、以下の書籍を参考にしてください。）

- 神沼靖子編『情報システム基礎』オーム社 2006
- 鈴木正人『ソフトウェア工学－プロセス・開発方法論・UML』サイエンス社 2003
- 宮川 公男 (編), 上田 泰 (編):『経営情報システム<第4版>』2014
- 山田隆太『わかるオブジェクト指向』技術評論社 2005
- 吉川正俊 (著) :『IT Text データベースの基礎』, オーム社 2019
- Axel van Lamsweerde: *Requirements Engineering: From System Goals to UML Models to Software Specifications*, Wiely, 2009
- D.M Diez, M.C.Rundel, C.D.Barr (著), 国友直人, 小暮厚之, 吉田靖 (訳) :『データ分析のための統計学入門』, 日本統計協会 2022
- Ian Sommerville: *Software Engineering*, 9th ed., Addison-Wesley, 2010
- J.D.Helleher, B.Mac Namee, A.D’Arcy (著), 宮岡悦良, 下川朝有, 黒澤匠雅 (訳) :『データアナリティクスのための機械学習入門 - アルゴリズム・実例・ケーススタディ』, 近代科学社 2022
- J. Glenn Brookshear 著、神林靖訳、長尾高弘訳『入門 コンピュータ科学 IT を支える技術と理論の基礎知識』KADOKAWA/アスキー・メディアワークス 2014
- Kenneth Laudon , Jane Laudon : *Management Information Systems: Managing the Digital Firm*, Global Edition, 17th ed, Pearson Education Limited 2021
- Martin Fowler: *UML Distilled: A Brief Guide to the Standard Object Modeling Language*, 3rd ed., Addison-Weley, 2003

ID プログラム

専門科目：「情報社会デザイン」

情報社会における社会的課題に対し、下記項目のいずれかの観点における、基礎的な知識を踏まえて、自分の考えを論述する能力を問う。

【情報社会デザイン】

(項目)	(主な内容)
メディア／コミュニケーション	メディア産業、メディア表象、メディアの受け手、ソーシャル・メディア、アーカイブ、オンライン・コミュニケーション、ジャーナリズム、言語・記号、談話分析
ソサエティ／公共	社会システム、ネットワーク、情報財、民主主義、ガバナンス、都市・地域政策、空間分析、オープンデータ、ICT、グローバリゼーション
ライフ／コミュニティ	伝統的コミュニティ、地域コミュニティ、行政と市民組織、ネットワークで繋がるコミュニティ、社会調査、地域の文化・生活、文化変容、ジェンダー

〔参考書〕（例えば、以下の書籍を参考にしてください。）

共通

- 西垣通・伊藤守編著『よくわかる社会情報学』ミネルヴァ書房 2015
- 盛山和夫『社会調査法入門』有斐閣 2004

メディア／コミュニケーション

- 湯浅正敏他『メディア産業論』有斐閣 2006
- 伊藤守編著『よくわかるメディア・スタディーズ』ミネルヴァ書房 2015
- 大石裕『コミュニケーション研究—社会の中のメディア』慶應義塾大学出版会 2022
- 佐藤卓己『現代メディア史 新版』岩波書店 2018
- 吉見俊哉『メディア文化論—メディアを学ぶ人のための15話』2012

ソサエティ／公共

- 西尾勝『行政学』有斐閣 新版 2001
- 宇野重規『民主主義とは何か』講談社 2020
- 稲葉陽二『ソーシャル・キャピタル入門 —孤立から絆へ』中央公論新社 2011
- 野口悠紀雄『情報の経済理論』東洋経済新報 1974
- 若林芳樹・今井修・瀬戸寿一・西村雄一郎 編著『参加型 GIS の理論と応用 — みんなで作り・使う地理空間情報』古今書院, 2017

ライフ／コミュニティ

- 長谷川公一、浜日出夫、藤村正之、町村敬志『社会学（新版）』有斐閣 2019
- 森岡清志編『地域の社会学』有斐閣 2008
- ジェラード・デランティ『コミュニティ：グローバル化と社会理論の変容』NTT出版 2006 (Gerard Delanty, Community, Routledge, 2003)
- 佐藤郁哉『フィールドワーク 増訂版』新曜社 2006
- ユヴァル・ノア・ハラリ (著)、柴田裕之 (訳)『サピエンス全史：文明の構造と人類の幸福』河出書房新社 2016

VII 研究指導教員一覧表

注意： 志望する研究指導教員の決定にあたっては、事前に当該の教員と連絡を取り、研究テーマや指導の可能性などについて相談してください。教員の連絡先については、目次の頁に記載した情報学部教務係にお尋ねください。
(*：令和8年3月退職予定、**：令和9年3月退職予定)

指導教員名及び指導プログラム		研 究 テ ー マ
青木 徹	CS BI	放射線エネルギースペクトル画像からの有意情報抽出
		高速フォトンカウンティング信号情報処理
		高エネルギー放射線の医療・セキュリティ応用
秋元菜摘	BI ID	都市・地域デザインに関する地理学的研究
		地理情報科学（GIS、空間解析、地域分析）
新谷 誠	CS ID	グラフの組合せ的・代数的・幾何的性質の研究
		組合せデザインの構成・分類
石川翔吾	CS BI	感情思考モデルに基づく人-人/人-マシン・インタラクションの理解と応用
		ラーニングアナリティクスによる学習支援
		認知症情報学研究の社会実装
大木哲史	CS BI	パターン認識・機械学習技術のセキュリティ
		偽造メディアによる攻撃とその対策
		ユーザインタラクションを考慮したセキュリティシステム
大島 純	CS BI	マルチメディア学習環境における学習過程の分析
		CSCLを利用した学習環境のデザイン
		自己説明活動に基づいた自発的学習過程の促進
大島律子	BI ID	協調スキルの測定手法と評価手法
		協調学習支援
		アイディアの有望性評価
大本義正	CS BI ID	インタラクションする人工物との持続的かつ発展的な関係構築のモデル化
		コンテキストの共有と発展を伴うインタラクションの分析とモデル化
		人間の行動と生理計測を用いた内部状態モデル構築とその活用
		インタラクションのダイナミクスの仮想化
大森隆行	CS BI	ソフトウェア工学
		ソフトウェアの設計・開発・保守工程の支援
		コーディング作業の分析に基づくプログラミング学習教育支援
尾張正樹	CS BI	ランダム量子操作と量子制御、およびその量子多体系への応用
		量子通信・量子計算・量子暗号などの量子情報処理
		量子開放系、量子熱力学など、量子力学と情報科学との学際分野
梶原千里	BI	品質情報の分析に関する研究
		感性品質を考慮した製品・サービスの設計
		医療の質マネジメントシステムの導入・推進に関する研究
		地域単位での災害時医療継続マネジメントシステムの構築

狩野芳伸	CS	自然言語処理
	BI	対話システム
	ID	テキストマイニング
木谷友哉		二輪車を対象とした高度交通システム (ITS)
	CS	パーソナルモビリティのセンシング基盤技術
	BI	高精度衛星測位技術を用いた位置情報システム
		土木フィールドへの情報科学応用
金 明美		フィールドワークとエスノグラフィー
	ID	コミュニティ形成と身体文化
		エスニシティと多文化共生
金 鎮赫		モバイルヘルスの観点からアプローチする健康情報学
	CS	ウェアラブルデバイスを用いた健康関連情報の大規模な時系列データの収集と活用
	BI	日常の生活習慣行動及び健康リスクのメカニズムの解明と介入
桐山伸也	CS	適応型音声インタフェースを基軸とする音環境デザイン
	BI	マルチモーダル音声行動コーパスによる人間行動理解コンテンツ
		コモンセンスコンピューティング
高口鉄平		パーソナルデータの経済価値に関する研究
	BI	パーソナライゼーション・サービスに対する経済学／経営戦略の視点からの研究
	ID	情報通信産業における競争状況の評価に関する研究
小暮 悟	CS	教師の意図を反映した視覚化に基づくプログラミング学習者支援システム
	BI	ロールプレイ型対話体験に基づく第二言語学習支援システム
		高校・大学の授業を対象とした授業予習・復習支援システム
小西達裕		知識処理に基づく学習支援システム
	CS	学習者データの解析に基づくプログラミング学習教育支援システム
	BI	アルゴリズム・プログラム挙動の視覚化に基づく学習教育支援システム
		自然言語処理技術に基づく日本語学習支援システム
近藤 真	BI	ミニマリストプログラムにもとづく統語論研究
	ID	統語論と意味論とのインタフェース
		言語学的知見の自然言語処理技術への応用
笹原 恵		ジェンダーの社会的形成
	ID	非正規労働者と労働組合
		コミュニティと地域構造
佐治 斉		リモートセンシングと画像処理
	CS	衛星・航空画像を用いた地震災害時救助支援
		ITS (高度道路交通システム)
Sheftall, Mordecai G.		メディア、イデオロギー、文化論
	ID	社会心理学 (identityなど)
		近現代日本史・社会
莊司慶行	CS	記憶に残る情報検索技術と記憶しなくてもなんとかなる情報提示技術
	BI	レビューやSNSなどの多人数の素人が投稿した情報からの知識発見
		Webとソーシャルメディア分析による社会と人間の性質の解明
塩見彰睦		Web情報検索と情報アクセスを便利にするアプリケーション
		画像処理システム
	CS	教育用マイクロプロセッサ
		特定用途向けプロセッサの最適化設計

杉浦彰彦	CS BI	マルチメディア情報の圧縮符号化と高能率伝送
		マルチメディアコンテンツ制作技術の高度化
		マルチメディア情報通信技術の医療・教育応用
杉山岳弘	BI ID	デジタルコンテンツのデザインに関する研究
		デジタルアーカイブに関する研究
		画像処理基礎・映像メディア応用・Webシステム設計
高瀬奈美	ID	CMCツールの利用と第二言語学習
		オンライン言語学習とタスク活動
		遠隔交流と異文化理解
高橋 晃	BI	人間の記憶と確信の関連
		人間の記憶検索システムの特性
		ユーザビリティを向上させる開発手法
竹内勇剛	CS BI	認知科学的アプローチに基づく社会的なHuman-Agent Interaction
		人間のコミュニケーションにおける認知構造の解明
		実世界指向なインタラクションシステムの設計・開発
		初学者の協調的なプログラミング学習支援・評価
綱川隆司	CS BI ID	自然言語処理
		機械翻訳および多言語にわたる自然言語処理技術の応用
		オーラル・テキストコミュニケーションのための自然言語処理技術の応用
遠山紗矢香	CS BI ID	協調的問題解決の実践研究
		認知科学に基づくプログラミング教育の実践研究
		ICTを活用した学習環境の設計と評価
永吉実武	CS BI ID	ナレッジマネジメント
		イノベーションの普及
		ビジネスデザイン
西垣正勝	CS BI	次世代型ユーザ認証
		バイオメトリクスセキュリティ
		コンテンツの不正コピー防止
		コンピュータウィルスの検知
西田昌史	CS BI	音声情報処理
		高齢者の食行動の分析
		障がい者のコミュニケーション支援
西村崇宏	BI ID	インタフェースデザインのための人間特性評価
		障がいとアクセシビリティに関する研究
		学校教育における教育データおよびICTの利活用
許山秀樹	ID	東アジアを中心とした書誌学
		詩跡（歌枕）に関する総合的研究
野口靖浩	CS BI	ソフトウェア設計を対象とした学習支援システム
		行動分析に基づく協調学習支援
		課題知識と文章構造解析に基づくレポート評価支援
原田伸一郎	BI ID	アバター・キャラクターコンテンツに関する権利・規制
		メタバース・仮想空間におけるルールメイキング
		ロボット・AI等新興技術の社会実装における法的・倫理的課題
福田直樹	CS BI	Webとエージェント技術の応用システム
		メカニズムデザインおよびオークションの基礎理論と応用
		セマンティックWebとオントロジー技術の基礎理論と応用

藤岡伸明	ID	若者の海外就業に関する社会学的研究
		移民・外国人労働者に関する社会学的研究
		グローバル化・情報社会化の進展による産業・労働の変化
増澤智昭	CS	機能イメージングのためのセンサ開発
	BI	電子ビームを用いた情報デバイスの基礎研究
丸山友美	ID	プロダクション・スタディーズを用いたメディア文化史研究
		アーカイブを用いたメディアテキスト分析研究
峰野博史	CS	ヘテロジニアスネットワークコンバージェンス
	BI	知的IoTシステム／フィールドインフォマティクス
		不均衡マルチモーダル時系列データの分析や機械学習
宮崎 真	CS	脳、ベイズ推定、タイミング、身体知覚、スポーツ、VR 酔い
	BI	
	ID	
宮崎佳典	CS	語学教育／語学学習に関連したe-Learning用アプリケーション開発
	BI	数式検索システム開発とその数学教育／数学学習への応用
		数値シミュレーション
望月美希	ID	災害復興・支援、地域防災に関する社会学的研究
		都市農業に関する社会学的研究
		フィールドワーク、質的調査法
森田純哉	CS	認知アーキテクチャを利用した認知モデルの構築と評価
	BI	認知モデルを活用したインタラクティブシステムの開発と評価
	ID	Human-Computer Interactionにおける生理行動データの分析
山本泰生	CS	データマイニングと知識発見
		ストリームデータ処理
		宇宙動画ビッグデータ解析
遊橋裕泰	BI	ミクロ／マクロ行動分析に基づく社会集団のマネジメント
		モバイルICTサービスの社会実験／インキュベーション
		災害に強い情報社会
吉田 寛	BI	ローカルガバナンス・地域づくり活動の研究
	ID	情報技術社会における哲学・倫理的諸問題の解明
		言語と対話に関する実践的・理論的研究
李 皓	BI	コンテンツプラットフォーム産業のビジネス戦略と制度設計に関する研究
		IOE時代に適応する環境会計システム構築に関する研究
	ID	結婚・妊娠・出産の社会的プロセスモデル構築と人口政策に関する研究
		社会・経済・産業のエージェント・ベース・シミュレーション研究

Ⅷ 大学院入試情報の提供

1.入試情報の開示

当該年度の受験者で、不合格者に対して試験成績の開示申請を令和6年11月15日（金）から令和6年12月16日（月）までの間受け付けます。詳細は本学入試課までお問い合わせください。

記

〒422-8529 静岡県静岡市駿河区大谷836 静岡大学入試課
電話：054-238-4464

2.入試問題の閲覧

大学院の過去問題については、情報学専攻事務窓口（情報学部教務係）及び入試情報閲覧室（静岡キャンパス共通教育棟A棟4階）で閲覧することができます。

また、以下のWebサイトでも閲覧することが可能です。

<https://www.inf.shizuoka.ac.jp/information/graduate.html>

Ⅸ 個人情報の取り扱い

個人情報の取り扱いについては、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「静岡大学個人情報管理規則」に基づいて、次のとおり取り扱います。

- (1) 出願書類に記載された個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績は、
 - ① 入学者選抜（出願処理、選抜実施）、
 - ② 合格発表、
 - ③ 入学手続業務、
 - ④ 入学者選抜方法及び大学教育改善を支援するための調査・研究、
 - ⑤ キャリア支援を行うために利用します。
- (2) 入学者の個人情報については、
 - ①教務関係（学籍、修学指導等）、
 - ②学生支援関係（健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等）、
 - ③授業料徴収、
 - ④入学者選抜方法及び大学教育改善を支援するための調査・研究、
 - ⑤キャリア支援を行うために利用します。

X 障害等のある入学志願者の受験特別措置について

障害等がある入学志願者で、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、出願する前に本専攻と相談する必要がありますので、下記により申請してください。

申請の結果は、決定次第、本人に連絡します。

なお、申請前に本学のキャンパス（設置場所、環境等）を見学しておくことをお勧めします。

申請期限	原則として出願の1か月前まで
申請の方法	『大学院受験特別措置申請書』に、『障害者手帳』の写し又は医師の『診断書』を添えて申請してください。 なお、必要な場合は、本人又はその立場を代弁できる方（保護者、出身学校関係者、等）との面談を行うことがあります。
連絡先	〒432-8011 静岡県浜松市中央区城北三丁目5-1 静岡大学情報学部教務係 電話：053-478-1510 FAX：053-471-0249

注意

- (1) 郵便による照会及び『大学院受験特別措置申請書』の用紙を請求する場合は、84円分の切手を貼り、請求者の郵便番号、住所、氏名を明記した『返信用封筒（長形3号：23.5cm×12cm）』を同封のうえ、上記連絡先まで送付してください。
- (2) 電話による照会及び『大学院受験特別措置申請書』を持参する場合は、土曜日、日曜日及び休日は受け付けませんので注意してください。

X I 安全保障輸出管理について

静岡大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「静岡大学安全保障輸出管理規則」を定め、外国人留学生の受け入れに際し厳格な審査を実施しています。規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、注意してください。

【参考】「静岡大学安全保障輸出管理規則」

静岡大学規則集 <https://reiki.adb.shizuoka.ac.jp/aggregate/catalog/>
第1編 全学共通 > 第2章 組織・運営 > 静岡大学安全保障輸出管理規則

経済産業省「安全保障貿易管理」

<https://www.meti.go.jp/policy/ampo/gaiyou.html>

ENGLISH PAGE <https://www.meti.go.jp/policy/ampo/englishpage.html>

XⅡ その他の注意事項

一度納入した検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

(1) 検定料の返還請求ができる場合

- ① 検定料を払い込んだが、本学大学院に出願しなかった場合
- ② 検定料を誤って二重に払い込んだ場合
- ③ 出願書類に不備等があり、出願が受理されなかった場合

(2) 返還する検定料の金額

志願者本人の請求により、二重払い分又は全額を返還します。ただし、返還にかかる振込手数料は請求者の負担とします。

(3) 検定料の返還請求方法

上記の①又は②に該当する場合は、次頁の1.～7.を明記した検定料返還請求書（A4版）を作成し、「郵便振替払込受付証明書」を添付して、各試験日の10日前までに、静岡大学情報学部教務係（〒432-8011静岡県浜松市中央区城北三丁目5-1）まで郵送してください。

③に該当する場合は出願書類返却時に「検定料返還請求書」を同封しますので、必要事項を記入のうえ、郵送してください。

静岡大学大学院入学検定料返還請求書

年 月 日

静岡大学 大学院総合科学技術研究科 情報学専攻 御中

下記の理由により入学検定料の返還請求をします。

記

1. 返還請求の理由

2. 入試区分

(一般、飛び入学、推薦、リカレント、社会人、外国人、自己推薦型)

3. 氏名 (フリガナ)

4. 現住所 (フリガナ)

5. 連絡先電話番号 — —

6. 返還請求額 ¥30,000 円

7. 返還金振込先

金融機関名 銀行

支店名 支店

預金種別 普通・当座 (○をつける)

口座番号

口座名義人 (フリガナ)

・口座名義人が志願者と異なる場合は、志願者との続柄

※返還にかかる振込手数料は請求者の負担とします。

＜大規模災害に被災した入学志願者の入学検定料の特別措置について＞

大規模災害に被災した志願者の入学検定料について、志願者からの免除申請に基づき入学検定料の全額を免除します。

詳しくは、専用サイト
(<https://www.shizuoka.ac.jp/nyushi/guide/tokubetsusochi/>) をご覧ください。